

# 令和2年度事業報告

本県の水と緑に恵まれた快適な環境を次世代に継承していくため、県民やNPO法人・団体、学校、企業、行政等との連携及び情報の共有化を図り、協働して環境保全活動の普及啓発に努めた。特に、県民一人ひとりに、環境負荷の低減につながる実践的な行動を起こしていただくことを目指して各般の事業を展開した。

具体的には、環境とやま県民会議の構成団体との連携によるエコライフの推進、みんなできれいにせんまいけ大作戦などの「県民運動等の推進」及びNPO法人、企業、団体等が連携する「環境ネットワーク形成事業」等を実施する『協働推進事業』、

とやま環境未来チャレンジ事業や自然解説事業など学校や地域社会等において環境に対する理解を深めるための『環境教育推進事業』、

とやま環境フェアなどの啓発イベント等実施事業、ホームページやエコノワとやま等により情報発信をする『普及・啓発事業』、

地球温暖化防止活動推進員（以下「推進員」という。）の活動支援、国が展開している国民運動「COOL CHOICE（賢い選択）」の普及啓発などを行う『地球温暖化防止活動推進センター事業』など、幅広い事業を展開した。

また、環境経営マネジメントシステムを推進するため、『エコアクション21 地域事務局事業』として、制度の普及啓発、認証・登録の促進を図った。

なお、本年度の事業実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を講じて行い、会議の書面開催やイベントのオンライン開催等の方法も取り入れて実施した。

## 1. 協働推進事業

県民やNPO法人・団体、企業、行政等が幅広く連携し、環境保全活動を協働して展開する基盤として、環境ネットワークの形成とその拡大に努めた。

### (1) 県民運動等の推進

循環型・低炭素社会の構築をめざし、県民・企業・行政が一体となった県民総ぐるみの運動を展開した。

#### ア 環境とやま県民会議総会の開催（書面）

循環型・低炭素社会の構築をめざし、県民、事業者、報道機関、行政等の協力のもと、県民総ぐるみでエコライフスタイルを積極的に推進するため、活動方針をとりまとめ、県民会議の構成団体に資料を配布し情報共有した。

#### イ 富山県県土美化推進県民会議総会の開催（書面）

県民総ぐるみの「県土美化推進運動」を展開し、うるおいとやすらぎのある住みよい郷土をつくるため、活動報告及び活動方針をとりまとめ、県民会議の構成団体に資料を配布し情報共有した。

また、地域の清掃美化活動に貢献し、他の模範となる個人や団体を県土美化推進功労者として表彰した。

#### ウ 富山県3R推進に係る表彰式の開催

3Rの推進や地球温暖化対策の推進に尽力し、顕著な功績があった個人、団体、事業者を表彰した。

- ・ 開催日 令和2年10月16日（金）
- ・ 開催場所 富山県民会館304号室

## エ 富山県ごみゼロ推進県民大会の開催（Web上に掲載）

ごみゼロ・リサイクル推進の普及・発展を図るため、「とやま環境フェア 2020 in Web」のホームページ上に富山県ごみゼロ推進県民大会のページを開設した。

- ・ 開催期間 令和2年12月1日（火）～令和3年1月11日（月）
- ・ 開催方法 Web上での掲載  
（「とやま環境フェア 2020 in Web」と併催）
- ・ 内 容 功労受彰者の功績紹介、ごみゼロ推進運動の実施状況の報告

## オ 「みんなできれいにせんまいけ大作戦」の展開

富山県の貴重な財産である美しい海岸を保全するため、チラシやプレゼントキャンペーンによる啓発や、各団体の海岸等の美化活動に対する支援を行った。

- ・ キャンペーン期間 令和2年7月1日～12月31日

### ① 普及啓発の実施

- ・ 参加者 プレゼントキャンペーン応募 498名
- ・ 内 容 県内の海岸漂着物の発生状況について記載したチラシを配布するとともに、自主的な清掃活動を促進するためのプレゼントキャンペーンを実施

### ② 活動支援の実施

- ・ 参加者 県民、事業者、行政等 13,193名
- ・ 内 容 沿岸市町及び上流エリアの市町村・関係団体等と連携して海岸の清掃美化活動を行う際の活動支援を実施（資材提供等）

## <15市町村の活動概要>

市町村名	実施月日	活動場所	参加人数	ごみ量 (kg)
富山市	7・8月中	富山市海岸一帯(打出から水橋朝日町海岸まで) *各地区で実施	不明	不明
高岡市	10月18日(日)	国分浜・雨晴海岸一帯 道路、公園等	100人	可燃不燃ごみ 500袋
黒部市	7月5日(日)	海岸市内清掃	100人	可燃ごみ 2,140 kg 不燃ごみ 215 kg
入善町	7月中	町内全域 *各町内で実施	5,204人	可燃不燃ごみ 6.0 t
朝日町	7月中	町内全域 *各町内で実施	2,470人	不明
魚津市	9月20日(日)	鴨川流域	360人	可燃ごみ 45L:500袋 不燃ごみ 45L:20袋
滑川市	7月19日(日)	高塚海岸公園付近～ 早月川河口付近	250人	可燃ごみ 45L:40袋 不燃ごみ 45L:20袋
舟橋村	8月2日(日)	村内全域	300人	可燃不燃ごみ 690 kg 側溝汚泥 4 m <sup>3</sup>

上市町	9月19日(土) 20日(日)	6町内	270人	報告なし
立山町	8月23日(日)	利田地区常願寺川公園 周辺	60人	可燃ごみ 90L:2袋 不燃ごみ 70L:1袋 アルミ缶 90L:1袋 ビン類 45L:1袋 スチール缶 90L:1袋
射水市	7月5日(日)	六渡寺海岸 足洗海岸・海老江海岸	1,344人	可燃物 4,400kg 不燃物 570kg 処理困難物 110kg
氷見市	7月中	市内全域の海岸 ・道路・河川等	2,000人	可燃ごみ 7,500kg 不燃ごみ 1,500kg
砺波市	8月29日(土)	市内小中学校周辺	340人	可燃不燃ごみ 100kg
南砺市	7月10日(金)	市内各地	290人	不明
小矢部市	9月20日(日)	小矢部川大堰 ・津沢大橋	105人	可燃ごみ 110kg 不燃ごみ 150kg
合計	参加人数 : 13,193人 回収量 可燃ごみ 14,150kg+45L:540袋+90L:2袋 不燃ごみ 2,435kg+45L:40袋+70L:1袋 可燃不燃複合 6,790kg+500袋 汚泥 4m <sup>3</sup> アルミ缶90L:1袋、ビン45L:1袋、スチール缶90L:1袋、 処理困難物110kg			

## (2) 環境ネットワーク形成事業

県内企業、関係団体等の環境保全活動の情報を発信するホームページ「エコノワとやま」の活用を図るとともに、県民、NPO法人、企業、行政等と連携した環境保全活動主体のネットワーク化や事業の協働化に取り組んだ。

### ア 企業等環境保全活動支援事業

企業とNPO法人等の連携・協力を推進するため環境イベントへの参画を支援するとともに、環境保全意識の高揚、知識の普及啓発及び将来の指導者育成を図るため、企業、学校、団体等の要請に応じ、環境保全活動の専門家や地球温暖化防止活動推進員（以下「推進員」という。）などを講師として派遣した。

#### ① 「とやま環境フェア2020 in Web」への参画支援

- ・ 出展募集期間 令和2年8月28日～9月30日
- ・ 出展者数 50団体・企業
- ・ 支援内容

環境保全活動に取り組む企業・団体に対し出展を促すとともに、出展ブース画面の作成方法の助言等を行い、取組内容の発信を支援した。

併せて、企業・団体等にWebページを閲覧していただくことで、他団体の取組みに関する知見を得るとともに、新たな連携・協働の可能性を探る機会を提供した。

- ② 出前講座の実施
  - ・ 実施回数： 5回
  - ・ 受講者数：146名

#### イ 市町村との環境パートナーシップ事業

市町村とのパートナーシップを形成し、環境保全活動における連携・協力を推進するため、各市のエコライフ・イベントを支援した。

- ・ 実施時期 4月～3月
- ・ 実施場所 県内各市のエコライフ・イベント等
- ・ 参加者数 約1,339名
- ・ 内 容 エコライフ・イベント等への出展、協力又は支援

#### ㊦ ウ サルベージ・サポーターマッチング事業

手付かず食品の削減に有効なサルベージ・パーティー（家で余っている食材を持ち寄って調理すること）の普及のため、県の認定を受けたサルベージ・サポーターが実施したサルベージ・パーティーへの支援を行った。

- ・ 実施回数： 3回
- ・ 参加者数： 38名

#### ㊦ エ フードドライブ促進事業

家庭での食品ロス削減の取組みを促進するため、未利用食品を福祉団体等へ寄付するフードドライブをモデル的に3か所（黒部市、高岡市、富山市）で実施した。また、フードドライブ実施マニュアルの作成等を行った。

フードドライブ会場	実施日	寄付された食品の数
黒部市役所 2F 市民交流サロン (黒部市)	8月3日(月) ～5日(水)	942個
高岡市役所 1F ホール他5会場 (高岡市)	9月24日(木) ～25日(金)	920個
アルビス高原店 (富山市)	10月30日(金) ～11月1日(日)	687個

#### オ 豊かな地下水保全事業

本県の豊かで清らかな地下水を県民共有の貴重な財産として、将来にわたり守り育てていくため、消雪設備の節水や名水・湧水の保全など地域に根差した地下水保全活動を担う「地下水の守り人」の活動を支援する技術講習会を開催した。

##### ① 技術講習会

富山会場

- ・ 開催日 令和2年11月24日(火)
- ・ 開催場所 富山県民会館 701号室
- ・ 参加者数 20名(富山消雪装置管理連合会 4名含む)
- ・ 内 容 技術講習(消雪利用・名水保全)、県からのお知らせ

#### 高岡会場

- ・ 開催日 令和2年11月25日（水）
- ・ 開催場所 富山県高岡文化ホール第2会議室
- ・ 参加者数 7名
- ・ 内容 技術講習(消雪利用・名水保全)、県からのお知らせ

#### ② 消雪設備節水用機材の貸与

- ・ 貸出し数 1団体に十字ハンドル、ドレン、パワーレンチを各1個

#### カ 環境保全に関する相談事業

環境保全相談室を設置し、環境保全活動・環境教育の具体的な行動を促すため、ごみ減量化やリサイクル等に関する相談に応じるとともに、情報提供、活動支援及びこどもエコクラブの育成等を行った。

- ・ 相談件数 126件
- ・ 内容 環境保全活動に関する相談等

#### キ 環境保全活動活性化事業（収益事業）

環境保全活動を活性化し、企業等の取組みを支援するため、「令和2年版環境関係法規の手引」を作成し、有償頒布した。

- ・ 頒布開始 令和2年6月
- ・ 頒布先 県内企業、団体等
- ・ 頒布部数 130冊

#### ク 行事等への後援・協賛

県、市町村、地域活動団体等が主催する行事等への後援・協賛を実施した。  
参考資料1参照

#### ケ 環境保全活動機材等の提供・貸出し

各市が実施するイベントや推進員の活動に対し、資機材の提供、貸出しを実施した。

- ・ 貸出件数 16件

## 2. 環境教育推進事業

環境保全活動の継続と拡大を図るため、学校や地域社会で環境保全に対する理解を深め、取組意欲の高揚を図る環境教育を推進するとともに、各団体等が実施する活動を支援した。

### (1) とやま環境未来チャレンジ事業

#### ア とやま環境チャレンジ10事業

小学4年生を対象に、エコライフの理解・実践・定着を図ることを目的に、小学校に地球温暖化防止活動推進員を講師として派遣し授業を行う「とやま環境チャレンジ10」を実施した。

- ・ 開催時期 9月～2月
- ・ 実施校数 県内全市町村 小学校 62校
- ・ 参加者数 2,664名
- ・ 内 容 小学校教諭や推進員による授業、児童・家族による地球温暖化防止や3Rの推進、食品ロス削減等のための取組みの実践(10項目、1～4週間(小学校ごとに期間を決定))

#### イ 食品ロスゼロチャレンジ事業

小学校における食品ロス削減の学習を推進するため、本県の実情を踏まえた食品ロスに関する副読本を県内小学校52校に配布した。

### (2) はじめてのエコライフ教室

幼児期から(家族ぐるみで)エコライフの理解・実践・定着を図ることを目的として、幼稚園・保育所等に推進員を講師として派遣し授業を行う「はじめてのエコライフ教室」を実施した。

- ・ 開催時期 8月～2月
- ・ 実施園数 7園
- ・ 参加者数 幼児 206名
- ・ 内 容 省エネやごみ分別等のエコライフの説明、児童・家族によるエコライフの取組みの実践(3項目・1週間)

### (3) こどもエコクラブの支援

こどもエコクラブの富山県事務局として、こどもエコクラブの育成及び活動支援を行った。

### ⑧ (4) SDGs理解促進・環境教育推進事業

企業の経営層に対しSDGs(持続可能な開発目標)の理念についての啓発を図るとともに、3Rの実践を促進するため、SDGsのうち特に環境保全に関する専門家による、県内企業経営層を対象としたトップセミナーをウェブセミナー形式で開催した。

- ・ 開催日 令和2年12月4日(金)
- ・ 受講者数 約100名
- ・ 内 容 「企業がSDGs/サステイナブル経営に取り組む意義」  
「環境で地方を元気にする地域循環共生圏」  
「富山県のSDGsの取組みについて」

## (5) 自然解説事業

自然保護意識の高揚を図るため、ねいの里、頼成の森、称名地区、立山地区（室堂平、弥陀ヶ原）の県内4地区に自然解説員(ナチュラリスト)を配置し、自然解説を実施した。また、活動業務打合せ会及び活動業務報告会を開催するとともに、ナチュラリストの資質向上及び支援を目的とした研修会を開催した。

### <自然解説>

- ・ 配置期間 令和2年7月4日～11月3日  
(新型コロナウイルス感染症対策のため、4月～6月の間、自然解説業務は中止した。)
- ・ 配置人数 349名

配置場所及び人数一覧表

区 分	ねいの里	頼成の森	称名地区	立山地区		計
				室堂平	弥陀ヶ原	
配置人数	42名	41名	71名	96名 (192名)	99名 (197名)	349名 (543名)

注) 表中の( )は、配置延べ人数。

### <活動業務打合せ会及び業務報告会>

#### ① 活動業務打合せ会

書面で開催し、その後、電話や電子メールでの質問や相談に対応した。

#### ② 活動業務報告会

- ・ 開催日 令和2年12月13日(日)
- ・ 開催場所 サンシップとやま 福祉ホール
- ・ 参加者 73名

### <研修会>

- ・ 開催日 令和2年9月26日(土)
- ・ 開催場所 富山県自然博物館ねいの里、富山市婦中体育館
- ・ 参加者 41名
- ・ 内 容 現地研修①里山の薬草を知ろう！  
実技研修②転倒予防に役立つトレーニング処方について
  
- ・ 開催日 令和2年12月13日(日)
- ・ 開催場所 サンシップとやま 福祉ホール
- ・ 参加者 73名
- ・ 内 容 講演「ネパール・ブータンとの交流」

### 3. 普及・啓発事業

ホームページやメールマガジン、エコノワとやま、機関紙「きょうせい」等により、環境保全・地球温暖化防止活動の情報を発信、先駆的な取組みを実施している団体・企業等を紹介するとともに、環境保全に関する普及啓発を行った。

また、イベント等を実施し、環境保全意識の高揚とエコライフの実践拡大を図った。

#### (1) 啓発イベント等実施事業

##### ア エコライフ・アクト大会の開催（中止）

エコライフの実践に繋がるイベントとして、「環境月間」の6月に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を中止した。

#### ⑧ イ レジ袋無料配布廃止全国展開記念事業の実施

7月1日の全国一律のレジ袋有料化開始にあわせ、富山県において実施してきた取組みを継続し、県民の高い環境保全意識を一層向上するため、マイバッグ持参を呼び掛けるPRイベントを実施するとともに、コンビニエンスストアでのマイバッグ持参率向上のため、小型マイバッグを製作・配布した。

##### ①PR イベント

- ・開催日 令和2年7月1日（水）
- ・開催場所 富山駅、電鉄富山駅、富山駅周辺のコンビニエンスストア3店舗店頭
- ・内容 マイバッグ持参の呼びかけや小型マイバッグの配布

##### ②小型マイバッグの製作・配布

- ・制作部数 1,600個
- ・配布及びアンケート調査の実施

主に若年層を対象にモニターを募り、コンビニエンスストアでのマイバッグ利用の実践を促すとともに、今後の利用等についてのアンケート調査を実施した。また、環境イベント参加者等に小型マイバッグを配布した。

#### ⑧ ウ ニューエコライフ実践アイデアコンテストの実施

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から求められる「ステイホーム」によって増大が懸念されるエネルギー消費量や廃棄物排出量の増大などの環境負荷に対し、エコライフ実践を促進するため、家庭やオフィスで実践可能な環境保全に配慮した取組み事例やアイデアを県民・事業者等から募るコンテストを実施し、普及啓発を図った。

- ・募集期間 令和2年9月15日～令和2年10月15日
- ・応募数 家庭部門 75点、オフィス部門 20点
- ・優秀作品 家庭部門 5点、オフィス部門 5点

#### エ 「とやま環境フェア2020 in Web」の開催（富山県、環境とやま県民会議と共催）

新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るとともに、コロナ禍における新しい生活様式の実践の一環として、Web上での開催とし、温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「とやまゼロカーボン」実現の取組みや、SDGs達成のための取組みを紹介するとともに、家庭やオフィスで取組み可能な環境保全に配慮した新しいエコライフスタイルの普及・定着を図った。

- ・開催期間 令和2年12月1日（火）～令和3年1月11日（月）
- ・開催方法 特設ホームページの開設によるWeb上での開催



- ・ 閲覧者数 閲覧ユーザー数 4,829  
フェアトップページのページビュー数 11,443 回
- ・ 内 容 Web 上のブース展示及びイベントページ等  
  - <Web 上のブース展示>  
50 企業・団体が、各自の環境保全の取組みを紹介した。
  - <イベントページ>
    - ・ 富山県ごみゼロ推進県民大会【再掲】
    - ・ ニューエコライフ実践アイデアコンテスト【再掲】
    - ・ 環境先端県とやま PR 動画
    - ・ 人気キャラクターによるエコ活動実践に関する動画
    - ・ 地元プロスポーツチームによるメッセージ動画
    - ・ 食品ロス削減レシピ
    - ・ SDGs 理解/環境保全促進トップセミナー講演動画
    - ・ プレゼント企画等

## (2) 環境保全・温暖化防止活動情報発信事業

### ア ホームページによる情報提供

ホームページにより、財団事業の紹介、イベント案内、環境NPO法人リンク集など環境関連情報を発信した。

### イ メールマガジン「とやまエコ通信」の配信

県民、NPO法人、企業、市町村等を対象に、財団の実施事業、環境関連イベント、エコアクション21 関連情報を月1回配信した。

- ・ 配信回数 14 回（内号外2回）
- ・ 配信数 409 件
- ・ 配信先 県民やNPO法人、企業、市町村等
- ・ 配信内容 当財団の実施事業、環境関連イベント、NPO法人・企業の活動紹介等

### ウ 「エコノワとやま」による情報発信

県内のNPO法人等の環境保全活動に関する情報を集約・発信して環境保全活動を支援する参加型のホームページ「エコノワとやま」を運営した。

- ・ 掲載団体数 153 団体

### エ (公財) とやま環境財団機関紙の発行

財団の事業内容、県内の環境活動団体の紹介、環境に関する情報提供を行うため、機関紙「きょうせい」を発行した。

- ・ 発行回数 年2回（8月、12月）
- ・ 発行部数 各2,500部
- ・ 配布先 県、市町村、出捐企業、賛助会員、関係団体、病院等

#### 4. 地球温暖化防止活動推進センター事業

富山県地球温暖化防止活動推進センターとして、地球温暖化防止活動アドバイザーを配置し、地球温暖化対策や省エネに関する相談窓口の設置及び温暖化防止の普及啓発、地球温暖化防止活動推進員の活動支援を行った。

また、国のCOOL CHOICE賛同者の拡大に向けた普及啓発を行った。

##### (1) 地球温暖化防止活動アドバイザーの設置事業

地球温暖化防止に向けて、県民からの相談に対応するとともに、県民に対する普及啓発や指導助言、調査業務を行った。

##### (2) 地球温暖化防止活動推進員活動支援事業

県から委嘱された地球温暖化防止活動推進員に対して、研修会の開催、情報提供及び資材・資料の提供等を通じて、活動を支援した。

<推進員研修>

- ・ 開催回数 1回
- ・ 参加者数 87名
- ・ 内 容 ビデオ研修

##### (3) とやま環境未来チャレンジ事業（再掲）

##### (4) 地球温暖化防止活動促進事業（(一社)地球温暖化防止全国ネット補助事業）

富山県から指定を受けている「富山県地球温暖化防止活動推進センター」としての基盤強化を図るため、地球温暖化防止に関する情報の集積や地球温暖化防止に資する人材育成等の事業を行った。

##### (5) 環境保全に関する相談事業（再掲）

環境保全活動・環境教育の具体的な行動を促すため、地球温暖化対策等に関する相談に応じた。

##### (6) 「COOL CHOICE」普及促進事業

国が展開している国民運動「COOL CHOICE(賢い選択)」の賛同者の増加を図るため、とやま環境フェアや各市のエコライフ・イベント等で普及啓発を行った。

## 5. エコアクション 21 地域事務局事業

### (1) エコアクション 21 制度の普及啓発

#### ア 企業・団体等への普及啓発の実施

新型コロナウイルス感染症対策のため、普及戦略会議は開催せず、関係する事業者団体に個別に制度のエコアクション 21 説明や普及啓発への協力依頼を行った。また、ホームページ、メールマガジン等への掲載により、制度の普及啓発を図った。

#### イ エコアクション 21 事業者交流会の開催（オンライン）

エコアクション 21 認証・登録事業者における環境経営の理解促進と取組みの活性化を支援するため、SDGs と企業の関わりについての講演や県内認定事業者による環境経営の取組み事例を紹介するオンライン交流会を開催した。

- ・ 開催日 令和 3 年 2 月 17 日
- ・ 参加者数 27 名
- ・ 内 容 基調講演「中小企業が取り組む SDGs」  
事例発表「環境経営について」  
県からの情報提供「地球温暖化対策について」

### (2) エコアクション 21 認証・登録事業（収益事業）

事業者からの審査申込の受付、審査員の選任、審査報告書の受付、認証・登録の可否を審査する判定委員会の開催、中央事務局への判定結果の報告等を行った。

- ・ 認定・登録事業者数 112 社

### (3) エコアクション 21 自治体イニシアティブ・プログラムの推進

富山県と共催で“エコアクション 21 自治体イニシアティブ・プログラム”を実施し、事業者の募集と指導講習を行い、認証取得を推進した。

- ・ 実施期間 令和 2 年 9 月～令和 3 年 2 月
- ・ 開催回数 6 回（事前セミナー 1 回、講習会 5 回）
- ・ 参加者 エコアクション 21 認証取得を目指す事業者 5 社
- ・ 内 容 ガイドラインの説明、認証取得に向けての指導講習

## 6. 運営体制強化事業

当財団の事業、特に協働推進事業について現状及び課題を整理し、「意識啓発」から「協働・実践」へと効果的・効率的な事業展開を図るため、次の事業を行った。

- ・ 財団の事業を効率的に実施するため、コアとなる職員の確保・養成
- ・ 財団の財政基盤強化のため、新規賛助会員の確保
- ・ NPO 法人や企業による環境保全活動の活性化、定着化を図り、財団と協働した事業展開を図るための方策の検討

## (参考資料1)

## 1 後援・協賛・共催事業（7件）

区分	名 称	開催年月日	場 所	主 催
1	第16回砺波市民ごみゼロ運動	R2.4.5 R2.5.31	東山見・青島・雄神を除く地区 東山見・青島・雄神地区	砺波市環境美化対策委員会
2	2020年度環境月間ポスターコンクールの協賛について	R2.8.7～ R2.9.6	大和富山店、イオンモール高岡	富山県生活環境文化部環境政策課
3	水みらいプロジェクト2020	R2.4～R3.3	富山テレビで放映	水みらいプロジェクト実行委員会
4	アースデイとやま2020	R2.9.27	オンライン開催	アースデイとやま2020実行委員会
5	令和2年度 秋の自然観察会	R2.10.25	墓ノ木自然公園	富山県ナチュラリスト協会
6	第65回富山県環境保健衛生大会	R2.11.7	黒部市国際文化センターコラーレ	富山県環境保健衛生連合会
7	令和2年度 冬の自然観察会	R3.1.31	富山市 立山山麓 栗巣野平周辺	富山県ナチュラリスト協会

(参考資料 2)

1 会議の開催状況

(1) 理事会

開催日	名 称	開催場所	出席者数	議 題 等
R 2. 4. 23	第 41 回 理事会	(書面)	理事 11 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員会の開催の議決について</li> <li>・評議員会の議決事項</li> <li>・理事の選任について</li> </ul>
R 2. 5. 26	第 42 回 理事会	(書面)	理事 13 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度事業報告及び収支決算について</li> <li>・定時評議員会の開催の議決について</li> <li>・定時評議員会の議決事項</li> <li>・令和元年度事業報告及び収支決算について</li> </ul>
R 2. 12. 18	第 43 回 理事会	(書面)	理事 13 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員会の開催の議決について</li> <li>・評議員会の議決事項</li> <li>・理事の選任について</li> <li>・監事の選任について</li> <li>・定款の変更について</li> </ul>
R 3. 1. 15	第 44 回 理事会	富山県民 会館 401 号室	理事 10 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表理事（理事長）の選任について</li> <li>・顧問の委嘱について</li> </ul>
R 3. 3. 17	第 45 回 理事会	(書面)	理事 13 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員会の開催の議決について</li> <li>・評議員会の議決事項</li> <li>・理事の選任について</li> <li>・理事候補者決定に係る理事長への委任について</li> </ul>
R 3. 3. 24	第 46 回 理事会	富山県民 会館 701 号室	理事 10 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 2 年度事業報告（見込み）について</li> <li>・令和 2 年度収支予算の補正について</li> <li>・代表理事（専務理事）の選任について</li> <li>・常勤の理事に対する報酬等の額を定める件について</li> <li>・役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について</li> <li>・令和 3 年度事業計画及び収支予算について</li> <li>・令和 3 年度資金運用計画について</li> <li>・評議員会の開催の議決について</li> </ul>

(2) 評議員会

開催日	名 称	開催場所	出席者数	議 題 等
R 2. 5. 1	第 28 回 評議員会	(書面)	評議員 7 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事の選任について 飯野 義明→白江 勉 山瀬 洋明→山本 康雄</li> </ul>
R 2. 6. 5	第 29 回 評議員会	(書面)	評議員 7 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年度事業報告及び収支決算について</li> </ul>
R 2. 12. 25	第 30 回 評議員会	(書面)	評議員 7 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事の選任について 永原 功→麦野 英順</li> <li>・ 監事の選任について 中澤 宏→塩谷 誓勝</li> <li>・ 定款の変更について</li> </ul>
R 3. 3. 23	第 31 回 評議員会	(書面)	評議員 7 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理事の選任について 藤平蔵 芳光→大橋 豊</li> </ul>
R 3. 3. 31	第 32 回 評議員会	(書面)	評議員 7 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役員及び評議員の報酬等に関する規定の一部改正について</li> </ul>

(3) 環境とやま県民会議及び県土美化推進県民会議

開催日	名 称	開催場所	出席者数	議 題 等
R2. 4. 16	県土美化推進県民会議 総会	(書面)	85 団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度県土美化推進運動の実施報告</li> <li>令和2年度県土美化推進運動実施要領</li> </ul>
R2. 5. 26	環境とやま 県民会議第 1 回幹事会	(書面)	20 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和 元年度事業報告</li> <li>令和 2 年度事業計画</li> </ul>
R2. 6. 9	環境とやま 県民会議総 会	(書面)	115 団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和 元年度事業報告</li> <li>令和 2 年度事業計画</li> </ul>
R2. 9. 1	環境とやま 県民会議第 2 回幹事会	(書面)	20 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度富山県ごみゼロ推進県民大会の実施要領</li> <li>令和2年度環境とやま県民会議会長表彰（ごみゼロ・リサイクル、地球温暖化防止、エコ・ストア）受彰者の選考</li> <li>「ニューエコライフ実践アイデアコンテスト」の実施</li> <li>「とやま環境フェア2020」の開催</li> </ul>
R2. 12. 1～ R3. 1. 11	富山県ごみ ゼロ推進県 民大会	「とやま環 境フェア 2020inWeb」 上で開催	閲覧ペー ジビュー 数 205	<p>表彰受彰者の功績紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>富山県環境部門功労富山県知事表彰</li> <li>環境とやま県民会議会長表彰</li> <li>とやまエコ・ストア連絡協議会会長表彰</li> </ul> <p>令和2年度ごみゼロ推進運動実施状況報告</p>
R3. 3. 3	県土美化推 進県民会議 幹事会	(書面)	22 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度県土美化推進運動の実施状況</li> <li>令和3年度県土美化推進運動実施要領</li> <li>令和3年度県土美化推進功労の選考</li> </ul>

## 2 基本財産等の状況

### (1) 基本財産

(単位；千円)

区 分	目 標 額	R1年度末 受領額	R2年度増減額	R2年度末 受領額
県	200,000	200,000	0	200,000
市町村	100,000	100,000	0	100,000
民間	300,000	284,900	0	284,900
計	600,000	584,900	0	584,900

### (2) 環境保全活動推進基金

(単位；千円)

区 分	R1年度末 受領額	R2年度増減額	R2年度末 受領額
民間	46,530	0	46,530

### (3) 賛助会員

区 分	会 員 数	賛助会費額	備 考
個人	207名	338千円	2,000円／人
法人・団体	349団体	8,290千円	10,000円／口
計	個人・団体	8,628千円	